

平成26年12月14日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙公報

(第12区)

熊谷市の一部(旧熊谷市の区域)・行田市
加須市・羽生市・鴻巣市の一部(旧川里町の区域)

埼玉県選挙管理委員会



私の経歴

昭和五十一年十一月十七日 埼玉県加須市生まれ
久喜市立本町小学校、慶應義塾中等部、慶應義塾高等学校、慶應義塾大学商学部卒業
統一地方選において埼玉県議会議員に当選(二期)
第四十八回衆議院議員総選挙において当選
文部科学委員会委員、安全保障委員会委員
自民党 青年局長、選挙対策委員会委員
経済産業部会副部長、総務部会副部長

地方創生

地方創生は「待ったなし」の課題です。我々は、これまでにない「異次元」の取り組みにより、「まち・ひと・しごと」創生の好循環を確立し、地方において、新たな人の流れを生み出します。

経済再生

これまで緩やかな回復基調にあったわが国の経済は、本格的な成長軌道には戻りきっていません。しかし、重要な経済指標である雇用や賃金の改善は続いています。今、ここでデフレ脱却のチャンスを見逃すわけにはいきません。「アベノミクス」の三本の矢をより力強くするとともに財政健全化目標も堅持し、経済再生と財政再建を両立させます。

暮らしの安心・安全

犯罪やテロリズム、災害などから国民の生命・財産を守ることが政治の大使命です。私たちは、安全な国を創ります。また、安定した社会を構築することで、未来の安心を約束します。

地域活性化

農家の方々が希望を持てるような取り組みをします。また、加須市・羽生市における広域排水路整備によって、農家ははじめ地域の方々の排水にかかる負担を軽減します。行田市・熊谷市の利便性、産業発展のため、国道17号バイパス延伸の早期実現に向けて取り組みます。熊谷市の拠点施設を核とした中心市街地活性化を進めます。

自民党公認



埼玉県第十二選挙区
(熊谷市・行田市・加須市・羽生市・鴻巣市(旧川里町))

野中あつし

景気回復、この道しかない。

安倍暴走政治ストップ、政治を変えよう!

日本共産党が躍進すれば政治は必ず変わります

昨年の参院選での躍進を力に、ブラック企業規制法案、秘密保護法廃止法案を提出し現実政治を動かしています。憲法問題、原発問題、沖縄基地問題など、あらゆる分野で一致点にもとづく共同を広げます。

消費税に頼らない別の道を

- 富裕層と大企業に応分の負担を
- 大企業の内部留保を活用し、国民の所得増で税収をふやす。

格差拡大の「アベノミクス」ストップ くらし第一で経済を立て直す

- 人間らしく働ける雇用のルールを
- 社会保障——切りすてから充実へ
- TPP撤退、農業と中小企業の振興を
- 米価暴落緊急対策の実施を

若者を戦場に送るな! 憲法9条で平和外交を

集団的自衛権行使の閣議決定は撤回を

再稼働ストップ 原発ゼロの日本へ

新基地は断念し 基地のない沖縄を

政党助成金の廃止、企業団体献金の禁止を

比例代表は **日本共産党** とお書きください

消費税10%
きっぱり中止を

「年金は下がり続けるのに消費税は8%、暮らしが大変」と高齢者。「米価暴落で正月が来ない」と怒る農家——国民の声が安倍政権を解散に追い込みました。暴走ストップ、政治を変えるチャンスです。あなたの一票を安倍政権と正面から対決する**日本共産党**と私、鈴木ちか子に託してください。

1955年青森県生まれ。岩手大学教育学部卒業。北川辺町会議員5期、北川辺町議会副議長を歴任。家族は、夫と義妹、母。趣味は、読書と卓球。



鈴木ちか子

日本共産党



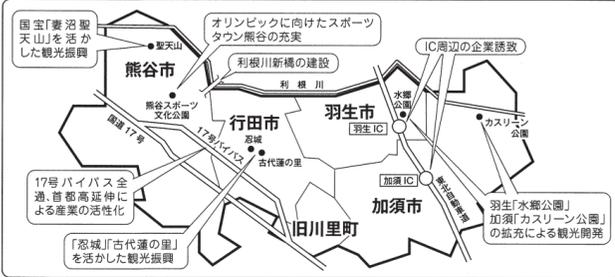
あらゆる格差をなくす政治。活力と希望あふれる日本を創るため

森田としかず 3つのチャレンジ!

- **あらゆる社会の貧困・格差の解消をめざします**
 - **「消費税増税」の前にやるべきことに全力を尽くします**
 - **国民目線の政治をめざします**
- 超高齢社会の今、私たちの暮らしに関わる課題は山積しています。私たちには、ご年配の方々もとより、未来を担う子どもたちのために、それらの課題を克服し、確かな未来を築いていく責任があります。まずは景気・経済を良くすること、同時に、私は自らの介護事業、団体役員での経験を活かし、あらゆる格差のない社会の実現をめざします。活力と希望があふれる日本を創るために、私、森田としかずは全力を尽くします。

埼玉群1,000万経済圏

埼玉 720万人・群馬 200万人の中核地域として



プロフィール

1974年9月19日生まれ
熊谷市立玉井小・中学校卒業
1993年 3月 埼玉県立熊谷高等学校卒業
1997年 3月 早稲田大学政治経済学部政治学科卒業
1999年 9月 カナダ・マギール大学留学
2003年 4月 埼玉県議会議員選挙に初挑戦(23票差で次点)
2005年 3月 早稲田大学大学院博士課程修了
2007年 4月 埼玉県議会議員選挙に当選(23,010票)
2011年 1月 (社)熊谷青年会議所理事長
2011年 4月 埼玉県議会議員選挙で再選(2期目)
2012年12月 衆議院選挙出馬 次点55,663票

趣味: 旅行、カラオケ(ものまね)、映画鑑賞、茶道(師範)。
好きな言葉: 「一期一会」
尊敬する人物: 勝海舟
家族: 妻と3人の子ども



森田としかず

次世代の党公認

40才

暴走に歯止め! 安心のニッポンへ

国内総生産(GDP)のマイナス、実質賃金の低下など「アベノミクス」の失敗が明らかになりつつある中、安倍総理は、なすべき景気対策などを放り投げ「大義なく」衆議院を解散し、総選挙では約600億円の税金が使われています。消費増税先送りに賛成ですが、そもそも「社会保障の充実を使う」「国会議員が身を削る定数削減を行う」という約束が果たされていない今、増税の条件自体がすでに崩れています。そもそも「アベノミクス」が成果をあげているという説明と経済状況が悪いので増税を先送りするという説明は明らかに矛盾しています。また、株価を無理やり上昇させるために日本銀行にお札を刷らせるという「異次元の金融緩和」は、将来止められない大規模な物価高(ハイパー・インフレ)という重大な副作用の危険をはらんでいます。また、皆さんが将来受け取る貴重な年金資金までリスクの大きい株の運用に大量につぎ込み、将来また「年金が消える」危険も増大しています。

「ホンダ」は目指します! 対案あります!

- 1 株価偏重の「アベノミクス」から、国民の所得、消費を増やす経済への転換。
- 2 「派遣労働の拡大」「残業代ゼロ」「解雇の金銭解決」など労働法制の改悪を阻止。「同一労働同一賃金法」の導入で格差拡大に歯止めをかけ、「分厚い中間層」を復活。
- 3 年金・医療・子育て支援など社会保障の充実。＜年金を危険にさらす株式運用増に反対です＞
- 4 集団的自衛権行使容認の撤回で外国の戦争に参加しない日本。
- 5 再生可能エネルギー支援のさらなる充実など脱原発への着実な一歩。



本多平直

衆議院議員候補

二期の実績、即戦力。

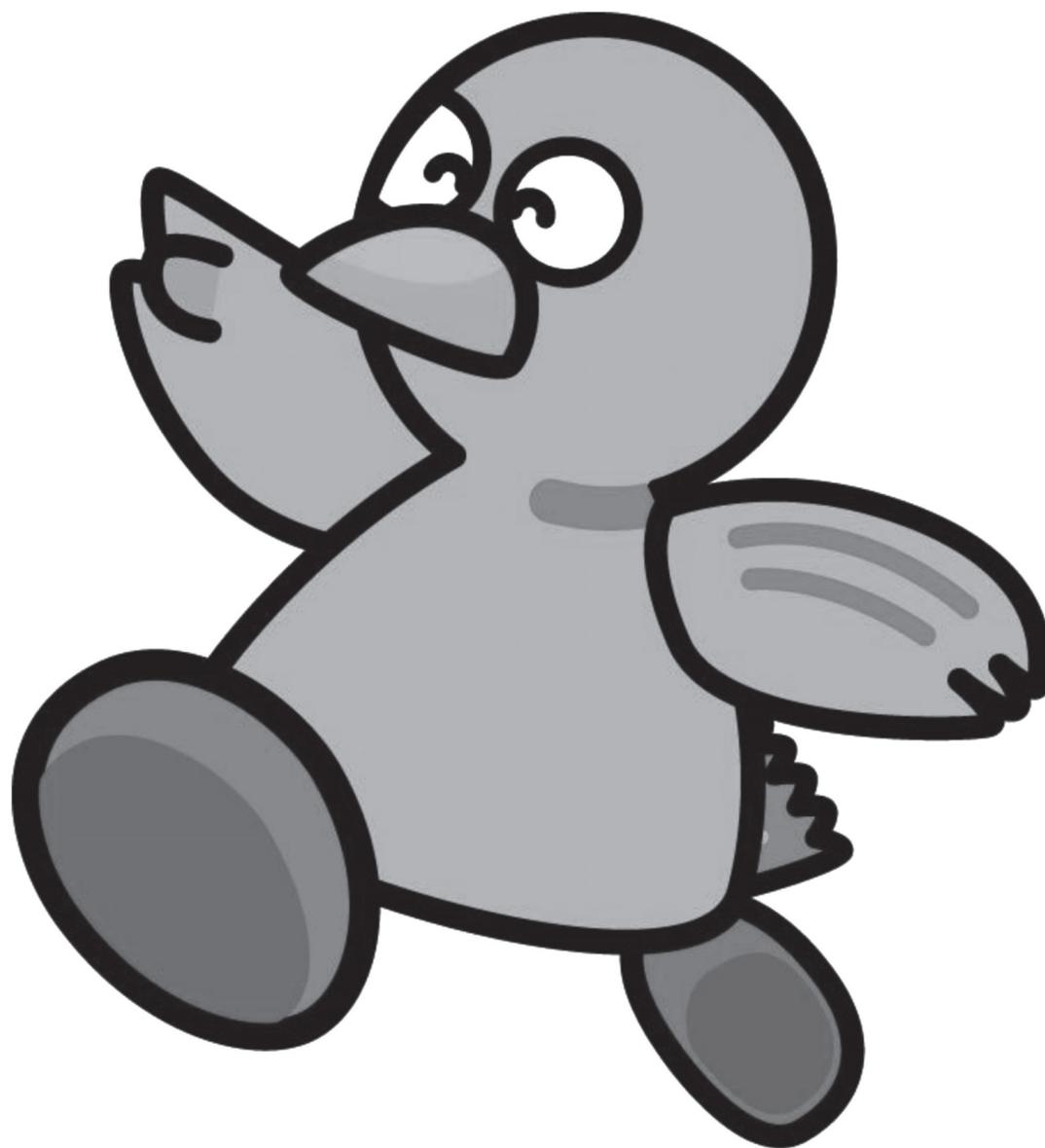


プロフィール 1964(昭和39)年、札幌市生まれ。北海道大学法学部卒業後、松下政経塾に入塾。新党さきがけ政策スタッフ、枝野幸男代議士政策秘書を務める。2003年、衆議院選初出馬、惜敗するも翌年比例区で繰上げ当選。2005年、「郵政選挙」で落選、4年間の浪人生活を経て、2009年、「政権交代選挙」にて小選挙区で当選。内閣総理大臣補佐官、経済産業大臣政務官、事業仕分け「仕分け人」などを務める。2012年、落選し、今回、復活を期す。

投票日 12月14日(日)

大切にしましょう。 あなたの一票！

小選挙区選挙は、
候補者氏名を書いて
投票します。
投票用紙は、
ピンク色です。



埼玉県のマスコット コバトン

埼玉県第12区



お住まいの選挙区の選挙公報が届かない世帯の方は、
市区町村選挙管理委員会へ御連絡ください。

仕事や旅行などのため投票日に投票所へ行けない方は、投票日より前に投票
することができます。詳しくは、お住まいの市区町村選挙管理委員会へお問い
合わせください。

期日前投票期間 平成26年12月3日(水)~13日(土)

埼玉県選挙管理委員会では、選挙速報をホームページで公表します。

埼玉県選挙管理委員会